

報道関係各位

## 2024年 年頭所感



代表取締役社長 大江 伸治

2024年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

ご高承の通り、昨年当社は設立 80 周年の節目の年を迎えました。本年は、改めて社員一人一人が当社 80 年の歴史を振り返りつつ、気持ちを新たにして、会社の発展成長に向け、更なる一步を踏み出すべき年に当たっております。

又、2024年2月期は、2022年4月に公表いたしました「中期経営計画」2年度に当たっており、同計画達成に向けたステップとなる重要な年でもあります。初年度であった2023年2月期の実績を踏まえて更に売上・利益を拡大し、最終年度目標達成の為に足掛かりを作るべく、全社一丸となって日々業務に当たっているところであります。

その今期もあと2か月を残すのみとなっております。今期業績につきましては、円安や資源価格高騰による調達コスト上昇や、夏の記録的な猛暑等の影響は受けたものの、コロナ禍が漸く沈静化し市場が正常化したこと、又、3年間継続して推進してきた事業構造改革の成果として、粗利率改善や在庫の適正化等が更に進展したこともあって、2023年10月に公表いたしました修正計画に沿って、ほぼ順調に進捗しております。残り2か月引き続き万全の態勢で臨み、所期の目標必達を目指します。

そして3月からは愈々「中期経営計画」最終年度であり、同計画の仕上げとなる2025年2月期を迎えます。同計画の中で Vision として掲げております「高い価値創造力と強靱な収益力を併せ持ったエクセレントカンパニー」を目指し、計画完遂に取り組みたいと思います。

新しい年を迎えて、この1年引き続き気を緩めず、経営陣以下全社の総力を結集して目標達成に邁進する覚悟を新たにしております。本年も皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。